

様式1

令和 2年度 事業評価書

評価対象期間	令和2年4月～令3年3月分
施設名	鹿野ふるさと加工所
指定管理者名	株式会社ふるさと鹿野
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設所管課名	農政企画課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課			
	自己評価	評価	確認方法	備考	
I. 公共サービスの実施状況					
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	書類・聞取り	適切に行われた	
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書類・聞取り	適切であった	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	書類・聞取り	基本的には適切に行われている。外部研修は実施することが出来なかった	
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	該当なし	該当なし	聞取り	規程どおりの対応で臨んでいる	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	書類	適切に実施しているが、外部使用者はなし	
6 減免対象者は、適切に減免しているか			聞取り	減免なし	
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	3	3	書類・聞取り	地域イベントへの参加	
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	聞取り	外部利用者がいないため満足度調査ができないかわりに、納入先で聞取りをし不備箇所は随時改善している。	
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞取り	苦情があれば誠意を以て適切に対応している	
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	3	3	書類・聞取り	僻地にあり、利用者等の拡大が難しい	
II. 施設の維持管理の実施状況					
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	書類	日頃から清掃等については徹底するよう努めている	
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	書類	日頃から点検等は実施しているが、老朽化による備品等の修繕は協定通り協議するがなかなか負担してもらえないところがある	
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	書類	適切に実施している	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞取り	適切に管理している	
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	聞取り	適切に実施している	
III. 施設の経営状況					
16 事業収支は妥当であるか	2	2	書類・聞取り	赤字計上となる(コロナ禍の影響で本来繁忙期であるGWに休業となったことなどが要因)	
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	書類・聞取り	生産品を限定し経費節減に努めた	
IV. 法令等の遵守状況					
18 個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	現地確認	適切に管理している	
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	書類・聞取り	適切に納付している	
20 労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、食品衛生法など)を遵守しているか	適切	適切	書類・聞取り	遵守している	
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	書類、現地確認	適切に実施している	

V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	聞取り	インターネットを活用し情報発信している
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	3	3	聞取り	一般利用が無いため実施していない
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	書類	規程に基づき報告をしている
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か。	3	3	書類・聞取り	・施設の保安は警備会社に委託 ・鍵の保管は適切に行っている
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	書類・聞取り	適切に行っている

2. 指定管理者の経営状況に対するコメント

指定管理者	年度当初からコロナ感染症拡大のため各集客施設とも鳥取市の休業要請により4月から5月にかけて休業することとなった。山紫苑はコロナによるキャンセルが宿泊休憩で4,459人4,500万円にのぼり収支に大きく影響することとなったが、鳥取市からの休業補償や経費の減免、雇用助成金、キャンセル補償金などにより収支は▲1,626,000円に留まった。温泉館は休業やコロナの影響により利用者は大幅に減少したが、鳥取市の休業補償やWeLove鳥取など県の支援事業などにより、現金客の利用が多く売り上げは計画を大きく上回り収支は8,732,000円利益計上することが出来た。そば道場、おもしろ市場、そば処も他施設同様コロナによる影響は大きく利用者は減少することとなったが、鳥取市の休業補償やGoToEatキャンペーンなど各種支援事業により、コロナ禍であるが利益確保することが出来た。加工所は鹿野そばやとち餅や黒豆きな粉など、道の駅を中心に販売を手掛けたが、コロナによる観光客の減少により売り上げは伸びず昨年並みの赤字となった。独自事業の農業は米やレンコンなどはほぼ計画通りの売上となり、そばは天候に恵まれたことで出来が良く、作業受託収入や販売収入が増加し、農機具の修繕費は増加したものの昨年以上の利益を確保することが出来た。青果切花の青果部門はコロナの影響で学校給食やおもしろ市場の需要が少なく利益は減少することとなり、切花は彼岸などの需要期は売上もあるが全般的に減少傾向にあり、原価も高騰してきていることから利益は減少傾向にある。交流館はコロナ禍で各種イベントが中止を余儀なくされ館内展示が中心となり、食堂部門はコロナ禍で利用者は少なく今年度末で休止することとなった。全体では山紫苑、加工所以外の温泉館やそば道場、農業部門など他部門の利益により431,000円の利益を確保することが出来た。
施設所管課	(株)ふるさと鹿野全体で黒字経営となり経営改善努力の成果といえる。鹿野ふるさと加工所としては鹿野そばやとち餅や黒豆きな粉など、道の駅を中心に販売を手掛けたが、新型コロナウイルス感染症による観光客の減少により売り上げは伸びず昨年並みの赤字となった。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	今年度はコロナ感染症拡大のため鳥取市の要請により4/11～5/17まで休業することとなった。再開後はとち餅・白餅・鹿野そば・黒豆きな粉などを主に道の駅やJA直販店に販売していった。コロナ禍のなか、観光客の減少に加え、地元客の買い控え、来店控えもあり、売り上げは伸びず製造数は減少してしまった。また、新たに取り組んだ地鶏寿司もコストの問題から中止することとなった。
施設所管課	新型コロナウイルス感染症の影響により地域イベント中止や地元客の買い控えなどの理由により赤字となったが、売上が好調な商品に力をいれたため、販売額は前年と比べ増額となった。

4. 総括コメント

指定管理者	コロナ休業後は、これまで通りとち餅など餅類や鹿野そばなど中心に販売していった。収支は鳥取市からの休業補償はあったものの、国や県の支援キャンペーン事業は直接売上には影響することはなく、前年度並みの赤字を計上する結果となった。
施設所管課	加工事業のコンパクト化とそれに伴う経費の削減等の経営努力で、2年連続で赤字額は大幅に縮小傾向である。

確認方法	書類、聞取り、現地確認
------	-------------

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容であった。	(優秀)	(標準以上)
	3	求める管理水準が適切に実施されている。	(普通)	(標準)
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある。	(やや劣る)	
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する。	(劣る)	
	0	求める管理水準が遵守されていない、不適切な管理運営がなされている。	(悪い)	

6. 事業・イベント等(仕様書業務)

項目	周期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
		予定													
		実施													
		備考													
		予定													
		実施													
		備考													

7. 事業・イベント等(提案事業)

項目	周期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	1回/年	予定													
		実施													
		備考													
	1回/年	予定													
		実施													
		備考													
	1回/年	予定													
		実施													
		備考													

* 項目は施設の実態に合わせて追加、削除してください。

【資料2】

施設名	鹿野ふるさと加工所
-----	-----------

1. 施設利用者数

(単位:人)

項目	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. 事業収支

【収入】

(単位:円)

項目	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
商品売上	20,752,264	20,268,807	3,653,461	5,012,491	0	3,444,695	2,760,000	3,633,204	5,820,000	
雑収入	0	8,133	0	0	0	926	0	84,454	0	
受託料	0	0	0	0	0	0	0	273,401	0	
その他売上	0	0	0	1,852	0	0	0	0	0	
収入計(A)	20,752,264	20,276,940	3,653,461	5,014,343	0	3,445,621	2,760,000	3,991,059	5,820,000	

【支出】

支出計(B)	25,285,758	25,461,053	5,038,958	8,907,150	935,188	4,151,485	3,226,969	4,648,327	5,730,238	
事業収支A-B	-4,533,494	-5,184,113	-1,385,497	-3,892,807	-935,188	-705,864	-466,969	-657,268	89,762	

※収支項目は、施設の実態に合わせて作成してください。